

済生会川内病院
広報にじ

vol. 59

2022/06
TAKE FREE

niji

Contents

- 02 特集
子ども発達支援センター 訪問相談事業
- 04 いりょう相談室
地域がん診療連携拠点病院について
- 06 新任ドクター紹介
- 07 信頼と連携の輪
- 08 医療型短期入所事業のご案内



「子ども発達支援センター」 訪問相談事業」 スタートから11年

小児科医は地域全体の子育てパートナー

平成23年5月、済生会が取り組む*なでしこプランの一つとして、当院小児科医による子ども発達支援センターつくし園への訪問相談事業がスタートしました。今回は、この活動を築いて来られた、前小児科部長の田中先生と、一昨年に事業を受け継がれた小児科部長の摺木先生にお話を伺いました。



訪問相談事業について 教えてください

摺木…市内にある子ども発達支援センターつくし園へ、我々小児科医が出向き、通園する児童の保護者や同園職員に対し、医療相談や小児の発達に関する勉強会を行う事業です。

田中…つくし園は、当院から車で20分ほどの所にありますが、障害児の発達を、児童発達支援・

放課後デイサービスなどで総合的に支援し、自立に導く療育訓練を行う施設です。日々子どもたちと直接かかわるつくし園の職員や保護者と、情報交換しながら互いに学び合える良い機会となっています。

勉強会のテーマは？

田中…発熱や睡眠などの一般的な話題を中心に、自閉症や

ADHD（注意欠如・多動症）など発達障害の症状に関するものです。「自閉症と食事との関連」「スマホに子守りをさせないで」等のテーマで関連資料を作成し、お話ししてきました。

摺木…発達・神経系など、脳の療育が専門の田中先生と違って、私は救急と循環器が専門です。そこで発達に限らず、親御さんの日常の悩み「偏食をどう

したらいいか」「車や踏切など、身の回りの危険をどう教えたらいいか」等、より身近な疑問についてお答えしています。

発達障害が増えている理由は何？

田中…エビジエネティクスとあって、環境変化による遺伝子変化が一つの要因だと考えられています。「愛情遮



田中 主美
Kazumi Tanaka
前小児科部長
医学博士

にとらないなど、現代社会の生活習慣も関係します。

子どもの将来を心配する親にはどのように寄り添いますか？

断症候群」といって、もともと発達に問題がない子どもでも、親の離婚など家庭環境の変化で遺伝子が「オフ」または「オン」の状態になり、身体的にも精神的にも発達が遅れていくことがあります。療育ではそれを正常な状態にし、解決に導きます。また、テレビばかり見ている、睡眠を十分

田中…疾患や個別の状況によって異なりますが、私は「その子をもつ独自の才能を伸ばしてほしい」と伝えています。その子の得意な分野や趣味、夢中になれる何かを見つけて、伸ばしてあげることが大切です。発達障害の子どもたちは、大人から叱られることが多く、知らず知らずの間に自尊心が傷ついてしまっています。成長してから、うつ病やパニック障害などを引き起こしてしまうことも少なくありません。大人になってから現れる二次的な障害が起こらないよう、いいことをしたら褒めるようにと、保護者には繰り返し伝えられています。

困った時は専門家に相談を

摺木…子どもの症状を相談できず、一人で抱えこんでしまう保護者もたくさんいらっしゃると思いますが、相談に来て頂かないと介入しづらいのが現実です。病院は地域に開かれた状態で、そこに専門家が存在するー発達障害を抱える子どもたちが、自立した生活が送れるようにするには、行政や関係団体が一体と



摺木 伸隆
Nobutaka Suruki
小児科部長

なって親と子をサポートしていくことが重要です。身近で頼れる小児科は、欠かせない社会インフラであると考えています。

田中…子どもの笑顔を見ていると、社会にとつての宝物だなどつくづく実感します。安心して子どもを産み・育てられる“まち”作りに貢献することも、われわれ医療機関の大切な役目であると考えます。

* なでしこプラン…済生会が行っている生活困窮者支援事業。

詳しくは機関誌「済生」(2022年3月号)で紹介されています。ぜひご覧ください。
(機関誌「済生」をご希望の方は小児科外来まで)



いりよう相談室



がん相談支援センター
前田くるみさんに聞きました。

地域に密着したがん専門病院

ひと昔前までは不治の病と恐れられていたがんも、医療技術の進歩に伴い、治すことができる、もしくは共に生きる病気となりました。新しい薬や治療法が次から次へと登場し、様々な情報があふれるその一方で、自分にとって一番良い治療法は何か、信頼できる情報はどこにあるのか、不安や悩みは誰に相談すればよいのか、がんになった患者さまは様々な課題に直面します。



今回は、そんな課題を一緒に解決してくれる相談窓口「がん相談支援センター」についてご紹介しましたが、今回は国から指定を受け、がん治療に特に注力している病院「がん診療連携拠点病院」についてご紹介いたします。

がん診療連携拠点病院とは？

がん診療連携拠点病院とは、全国どこでも質の高いがん医療を提供できるよう、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院です。

特に、各都道府県におけるがん医療の中心的な役割を担う「都道府県がん診療連携拠点病院」が都道府県に1ヶ所（鹿児島県では鹿児島大学病院）、「地域がん診療連携拠点病院」は、一般的な医療が完結する2次医療圏に原則1ヶ所（鹿児島県では鹿児島市立病院（高度型）、国立病院機構鹿児島医療センター、公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院、済生会川内病院）指定されています。当院は平成20年2月に「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けており、地域に密着したがんの専門病院としての機能と体制を有しています。

Qどんな相談ができるの？

当院では、がん患者さんやそのご家族のがんに関する不安や悩み、疑問などに対応するため、「がん相談支援センター」を設置しています。診断から治療、療養生活全般にわたってがんに関する様々な相談をお受けしています。不安な時、困った時は「がん相談支援センター」をご利用下さい。

検査・治療・副作用

- ・自分のがんや治療について詳しく知りたい
- ・担当医から提案された以外の治療法がないか知りたい



医療者とのコミュニケーション

- ・担当医の説明が難しい
- ・医療者に自分の疑問や希望をうまく伝えられない



経済的負担や支援について

- ・活用できる助成・支援制度、介護・福祉サービスを知りたい
- ・介護保険の手続きを知りたい
- ・仕事や育児、家事のことで困っている



社会との関わり

- ・病気について、職場や学校にどのように伝えればよいか
- ・仕事を続けながらの治療はできるか



患者さんやご家族の心のこと

- ・気持ちが落ち込んでつらい
- ・思いを聞いてもらいたい



療養生活の過ごし方

- ・治療の副作用や合併症と上手に付き合いたい
- ・自宅で療養したい

緩和ケア

- ・地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか
- ・治療を続けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらよいか

がん治療に関する情報

国立がん研究センターが運営する「がん情報サービス」のホームページには、がん治療に関する有用な情報が掲載されています。ぜひご利用下さい。
がん情報サービスホームページ：ganjoho.jp




がん相談窓口

場 所：済生会川内病院新館1階 がん相談支援センター
時 間：月曜～金曜日：9：00～12：00・13：00～16：00
電話番号：0996-23-5221（代表） 予約不要・料金不要

新任Dr.紹介

趣味/特技
野球
テニス


さかえ たかひろ
坂江 貴弘
消化器内科



皆様のお力になれるよう努めてまいります。

趣味/特技
ドライブ
温泉


ふじの ゆうすけ
藤野 悠介
消化器内科



済生会川内病院で生まれました。生まれた病院で働けるということで感慨深いです。薩摩川内市の医療に貢献できるよう頑張ります！

趣味/特技
ウインドサーフィン
F1観戦


てらだ よしひろ
寺田 芳寛
消化器内科



少しでも地域の医療に貢献できるよう尽力致します。よろしくお願い致します。

趣味/特技
ドローン(空撮)
旅行

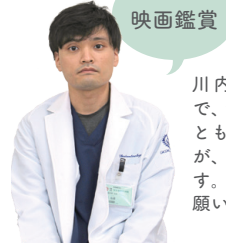
てらだ とも
寺田 朋
消化器内科



4月より赴任しました。専門は内科・消化器内科であり、上下部内視鏡検査や消化器癌診療、その他救急医療を中心に地域に貢献したいと思います。よろしく申し上げます。


趣味/特技
映画鑑賞

こだま こうき
児玉 弘毅
消化器内科



川内は初めての土地で、色々和不慣れなことも多いとは思いますが、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

趣味/特技
たびら けんた
フットサル
田平 健太
糖尿病内科



川内の医療に貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

趣味/特技
サッカー
釣り


ながはま じゅん
長濱 潤
小児科



子ども達が元気に過ごせる様、精一杯サポート致します。何でもご相談下さい。

趣味/特技
カフェめぐり
旅行

みうら きわ こ
三浦 希和子
小児科



2022年4月より済生会川内病院小児科で勤務させていただくことになりました三浦希和子と申します。初めての川内での生活に緊張していますが、川内の子ども達のため精一杯がんばりたいと思います。

趣味/特技
キャンプ
焚き火

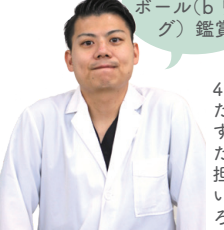
かわごえ こうすけ
川越 浩輔
外科・消化器外科



川内のためにがんばります。いいキャンプ場を教えてください。

趣味/特技
バスケットボール(bリーグ)鑑賞


ただ のぶひろ
冨田 宣裕
外科・消化器外科



4月1日付で赴任しました冨田(ただ)と言います。川内は初めて来ましたが、川内市の医療を担っていただけるよう尽力いたしますので、何卒よろしくお願い致します。

趣味/特技
ゴルフ


とみなが みつひこ
富永 充彦
泌尿器科



今年で医者8年目になります。ここ川内で医師として頑張りたいと思います。よろしく申し上げます。

趣味/特技
剣道


さいとう さえき
齋藤 朗毅
泌尿器科



精一杯頑張りますのでよろしく申し上げます。

趣味/特技
フィッシング

かわじ こうだい
河路 広大
放射線科



一年ぶりに川内へ戻ってきました。地域の方々のために頑張りますので、よろしくお願い致します。

4月に着任された
13名のドクターです。
よろしく申し上げます。



信頼と連携の輪

地域医療を支える連携医療機関をご紹介します。



河村医院産婦人科

産婦人科特有の医療連携を実施し、母体保護法指定医師がいる診療所です。

当院は明治時代に現在地に開院し、今に至っております。

現在は、一般産婦人科診療、子宮癌検診、妊婦健診、妊娠に関する相談など、一次施設としての役割を担っています。当院の目標は、症状が急変しやすい産婦人科疾患を確実に見極め、又、系統的な迅速な検査診断、処理を要する疾患は、二次・三次施設の総合病院と連携して、患者様が最適な医療が受けられるよう心がけています。地域の身近な産婦人科として、産婦人科初期診療を行っていますので、どうぞお気軽にご相談下さい。



院長
河村 勝之 先生



河村医院産婦人科

TEL : 0996-23-3569

〒 895-0051 薩摩川内市東開聞町 14 番 3 号

■ 診療科目 産婦人科

■ 診療時間

【月～金曜日】 午前 9:00～12:30
午後14:00～17:00

【土曜日】 午前 9:00～12:30
午後14:00～15:00

■ 休診日 日曜・祝日

上村病院

○鏡視下手術

消化器疾患などの手術では傷が小さく低侵襲な鏡視下手術を行っています。胆石・鼠径ヘルニア・急性虫垂炎・胃癌・大腸癌・直腸脱・腹壁ヘルニアなど

○内科

総合的内科疾患の初期診療を行います。又、呼吸器科(肺癌検診の精密検査・禁煙外来・睡眠時無呼吸症候群の検査治療など)、アレルギー科(気管支喘息の長期管理、発作時の入院治療・呼気NO検査など)では専門医が主に診察します。胃・大腸内視鏡検査及びポリープ切除なども専門医が担当します。

○肛門外科

切らないで注射で治す内痔核硬化療法(ALTA・ジオン)を実施しております。

○関連施設

介護老人保健施設『グレースホーム』

サービス付き高齢者向け住宅『グレースガーデン』



院長
堤田 英明 先生



上村病院

TEL : 0996-23-3185

〒 895-0051 薩摩川内市東開聞町 9 番 22 号

<https://kamimura-hp.com/>

■ 診療科目 外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器外科・呼吸器内科・肛門外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科

■ 診療時間

【平日】 午前 8:30～12:30
午後13:30～17:30

【土曜日】 午前 8:30～12:30

■ 休診日 土曜午後・日曜・祝日

医療型短期入所事業 (レスパイト事業)のご案内

人工呼吸器による呼吸管理や喀痰吸引、経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要となる、医療依存度の高い「医療的ケア児・者」。鹿児島県内におよそ300人いると言われていています。定期的な痰の吸引や体位変換、医療機器の対応などが常に必要であり、家族にかかる負担は非常に大きなものです。

レスパイトとは、英語で「ちょっとひと息」「ひと休み」という意味で、レスパイトケアとは、介護を行う家族が、一時的に養育や介護から離れて休息し、心身の疲れをとるための支援事業のことを言います。

当院は令和3年1月に、障害者総合支援法に基づく「医療型短期入所事業」の指定を受け、医療的ケアが必要な方の日中一時支援を実施しており、今後宿泊支援も対応する予定です。

詳しくは医療連携室(担当：湯之前・赤崎)までお気軽にご相談ください。

事業対象者

- ・薩摩川内市に住所を有する方(令和4年度からさつま町も対象)
- ・「重症心身障害児・者」「療養介護対象者」「遷延性意識障害者」等の認定を受けられた方で、医療機器(気管切開・人工呼吸器・経管栄養・痰吸引・在宅酸素等)を使用している方。

その他

- ・ご利用に際しては事前予約が必要です。
またご利用の前にご自宅にお伺いし、打ち合わせ(担当者会議)を行います。

